



も り 森林の風

森林施業 認定 NPO 法人
森林の風
会長 瀧口 邦夫
平成 26 年 1 月 発行

第18号

だ よ り

御在所岳頂上GOGO植樹

5500本を目標に植樹を進行中。国定公園内なので知事の許可を受けて種子採取から！現在800本です。ポット苗は、ただいま3000本育成中 **あと4700本** 川下の企業や皆さんの寄付をお待ちしております。

認定NPO法人

..... **三重県認定NPO法人1号**になったのだ！
賛助会員などの形で森林を守る活動にますますご協力のほどよろしくお願ひします。

実践林業

竹林再生

放置竹林再生にももちろん頑張ります。
切った竹は竹ポットにして植樹活動に生かします。

「災害に強い森・水源の森」を守るにはチェーンソー・のこぎりを持って森に入ろう。
今年の**人工林施業10ha以上**を目指そう！

研修会

森林環境教育プログラム
「森の響」

..... 9年目を迎える「まちのきこり人育成講座」
三重県北勢地区への**出張！まちのきこり人育成講座**も準備中。

準備完了しました。あなたの街で開催します。乞うご期待。

研修所

これだけの事をするなら皆で集える場所が必要だな！
どうする！強力な活動と信頼で、収入アップが.....

フォーラム2014

「フォーラム2014」はどうなるの？
「フォーラム2013」で終わり？

新型・木の名札

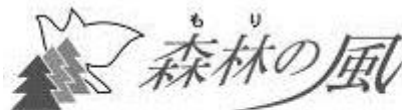
..... 森林の風オリジナル準備中！近々公開予定

会員全員で、森を守りたい人々と
「共に考え」「次世代につなげる」「森林への関心を高める」
小さい夢 大きい夢に 一步一步前を向いて進もう
本年もよろしくお願ひ申し上げます

森林施業
認定 NPO 法人会長
瀧口 邦夫

初日の出 at Komono

森林施業 認定 NPO 法人



認定にあたってはいろいろご指導いただいた
NPO 室から寄稿いただきました

三重県環境生活部男女共同参画・NPO課
主事 鈴木 努

平成 24 年 4 月の NPO 法改正により、これまで国税庁が実施してきた NPO 法人の認定事務は、三重県が実施することとなりました。森林の風さんは、法改正後、三重県が初めて認定した NPO 法人です。

認定 NPO 法人は、「運営組織及び事業活動が適正であって公益の増進に資するものにつき一定の基準に適合したもの」とされています。森林の風さんは、寄附者の人数、適切な組織運営等、様々な基準をクリアされました。レベルの高い運営を続けられるためには、今後も大変なご努力が必要と思いますが、三重県認定の第 1 号として、三重県の NPO 法人の模範となっただけのよう、益々のご活躍、ご発展を期待しています。

お知らせ Notice 「東芝の森」森林保全イベント & Co2 吸収量評価

【裏川】

昨年の 10 月 19 日に四日市市水沢町の「東芝の森」にて「150 万本の森づくり」の一環であるイベントをおこないました。

(株)東芝の社員およびご家族 130 名以上の方々に参加していただき、無事に終えることができました。今回も東海自然歩道沿いに 30 本のヤマモミジを植栽し、その後、鋸による間伐作業を体験していただきました。木が倒れる迫力を目の当たりに感じていただけた一方、



せっかく育った木を倒すことに疑問を持たれる方もありました。そこは非常に大切な点で、「森全体を考えた時、いい木を育て山の地力を上げるためには必要なことです。」と説明をすると、納得していただけた様子でした。

付近は星空が美しく伊勢湾を一望できる、東芝の森。時々植えた木を見に訪れていただけるとうれしいですね。



この東芝の森には平成 24 年 10 月から施業に入っています。1 年目の施業予定エリアが平成 25 年 1 月の間伐シーズンに終了し、その面積 (1.27ha) の施業でどれだけの Co2 吸収に貢献できたのかという算定をしていただくべく、三重県へ書類提出をしました。その結果、1.27ha の施業で年間 17.9 t の Co2 が吸収されるというものでした。10 月 20 日には、株式会社東芝に知事から証書が直接手渡されました。

この実績は私どもにとっても大きな励みになります。

左の写真はその証書です。



南部丘陵公園の里山保全活動がめざすもの

四日市自然保護推進委員会
寺田 卓二

私たちは、40年以上前から四日市市内で自然観察会や自然の調査を行っている団体です。2009～10年に行った調査では、最近20年間で大きく変わった自然景観は里山の自然でした。マツ枯れによるアカマツ林の消滅、その後の竹林の繁茂、そしてコナラ林で始まっているナラ枯れなど、人々の関心を失い、活用されなくなった里山は、かつてあった姿とはすっかり変わってしまいました。私たちが観察会の主会場の一つにしている南部丘陵公園(南丘)も例外ではありません。里山に普通に見られたヤマツツジやガマズミ、オケラやオミナエシ、キキョウなども見かけることが少なくなりました。



なんとか、かつて普通に見られた里山の風景と動植物をわずかな面積でも残しておきたい。この思いから始まったのが南丘の保全活動です。

森林総合研究所関西支所の提言されている方法を基に、毎年小面積を皆伐して萌芽更新を促すことを継続し、5年後、10年後には多様な遷移段階にある林(コナラを中心とした雑木林)を再生したいと考えています。



皆伐地で萌芽更新するコナラ

この活動により多様な自然が残され、これからも自然観察会が継続できる場所を創出していきたいと思えます。

私たちは、元々観察会をやっていた者の集まりで、大きくなりすぎたコナラ林を伐採する力は持ち合わせていません。そこで、「森林の風」さんに全面的なご協力を仰ぎ、また、KIEP'S(霞ヶ浦地区環境行動推進協議会)や四日市市環境学習センターの皆さんとも連携して、市役所の市街地整備・公園課のご理解のもと活動をしています。この活動は始めてまだ2年目で、整備した場所がどのように遷移していくのか調査をしながら活動を進めているのが現実です。伐採した木材の利用についても、いろいろな道を探っていきたいと思っています。今後ともご協力、ご助言をよろしくお願いいたします。

報告 Report ティ・エステック(株)鈴鹿工場 第2回森林保全活動

【櫻井】

第2回森林保全ボランティア活動を11月29日に行い、歩道沿いにヤマザクラとヤマモミジ26本を植栽し景観向上に努めました。

現在は、林内の観察道もほぼ完成、歩道沿いの危険な枯損木の伐倒も概ね終了し、数十年放置された里山の本格的な整備、復元を進めています。ナラ枯れ・松枯れは伐木し、伐り株の萌芽は1,2本残して整理します。受光を遮る高木の伐採を行うと暗かった林内が明るくすっきりとなります。楽しめる里山を目指して施業に励んでいきます。



報告 Report 三重県民の森 整備支援活動

【小坂】

1980年に【第31回全国植樹祭】を記念して開設された「三重県民の森」は、鈴鹿山麓に45haの面積を持つ広大で自然豊かな公園です。

「自然の森」や「野鳥の森」「冒険の森」などがあり、遊歩道を歩いて自然に触れていただけます。森にはいろいろな種類の樹木や草花があり昆虫などが生息し、四季を通じて散策や自然観察を楽しむことができます。

私たちはこの魅力ある「県民の森」で、3年前から整備支援活動を行っています。ご存知の方も多いように、森は、里山の生活の場として利用され手入れをされて来ましたが、近年人の手が入らず本来の機能が低下してきています。県民の森でも松枯れ、ナラ枯れが進み大径木が立ち枯れています。訪れた人々に被害を及ぼさないよう整備が必要な状態です。

☆ 平成23、24年度の活動経過

〈生産の森及びヒノキ林〉 間伐・枝打ちが遅れ、森は暗く弱々しく成長の妨げとなり、下草は生えず下層木の無い状態と成っていました。

2年間で、混み合った木、弱い木等の伐倒をし、8mまで枝を打ちました。古損木（大径木 40~60cm）はチルホール使用で伐倒しました。施行後は林の中を小鳥が飛び回り、木は生き生きと枝葉を伸ばし、これで大きく育ってくれる事でしょう。

☆ 平成25年度の活動経過

大駐車場道路沿いエリア（約1ha）の施業。遊歩道を一步入り込めば笹に覆われ、灌木はつるに覆われ、掘り穴だらけで、景観は悪く危険な状態でした。

残す草木をマーキングし、エリア全体の笹刈り（太い笹）やツル切りを実施。古損木は、前年に続き（大径木 40~60cm）チルで伐倒、間伐、不要草木の除草、除伐を行いました。刈った笹や間伐残材の片付け、整備を進めました。見通しが良くなりエリア内に多数のやまつつじが点在するのが見え、景観が良くなりました。

里山再生の勉強もしてきている中、今回の活動で少しでもその実践をし、社会貢献が出来ることに喜びを感じます。

皆さんも「森林の風」活動を体感してみませんか。



2007年亀山市向井において、山林所有者である鈴鹿森林組合からホンダ技研(株)が借り受け、管理を「森林の風」が担当するという3者契約により、施業が始まりました。

当時はまだ「企業の森」という制度がない中でスタートで、当会にとっても初めての企業との契約でした。向井フォレスト1<通称F1>と命名し、総面積(平面)約10haで5年の契約でスタートしました。契約終了の2012年4月には、さらに5年間契約を延長していただくことになりフィールドとして継続中です。

ヒノキ・スギの人工林と雑木が混在しており、幾つもの沢があり、炭焼き跡が点在し、歩くだけでも非常に興味深い山です。

活動内容は間伐、歩道作り、植樹、鹿害対策、定点観測を中心とし、森林環境教育の場としても活用しています。また、鹿の皮剥ぎによる枯れスギが多発したため、その対策方法の実験なども行いました。

イベントは年2回開催し、ホンダ技研(株)の従業員、家族、OBの方々に参加いただいています。植樹、ノコギリ間伐、歩道作りなどの作業をしながら森林環境に親しんでいただいています。沢の水が枯れることなく、1年中流れている森を目指して活動をしています。

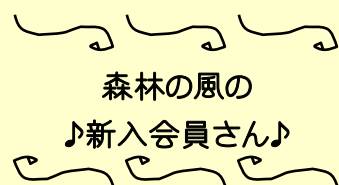
2014年にはこのF1の森で、森林に親しむハイキングを計画しますので、いい汗をかいて楽しみ親しんで頂きたいと思います。是非ともご参加ください。
【フィールド担当 大石】

向井F1へ。

協働フィールド紹介①
ホンダ技研(株)

亀山市

森林の風さん、モリノカゼさん、今日はどちらへ？



長谷川です。

菟野町に住んでいます。家の近くの、福王山を見ながら、この山は今健康なのか？と疑問に思い、山の勉強をしてみようと思ったのが入会のきっかけです。

山仕事は予想以上にハードです。

家では、牛を飼い牛乳を搾っています。



澤田です。

災害ボランティアでチェーンソーを見て、里山ボランティアで木に触れ、森林の風にたどり着きました。現在の目標は1日でも多く活動に参加し、技術、知識を身に付



け経験を積んでいくことです。

皆さん、よろしくお願いします。

中橋です。

森林の風のことは数年前から存じておりました。退職したら活動に参加したいと軽く考えておりましたが、いざ参加すると、会の幅広さに正直驚いております。

山歩き、田舎ドライブが好きです。

全くの素人ですが宜しくお願いします。



向井F1発!

亀山市コミュニティー

「森を歩く」催行

【大石】

今回、初めて亀山市から「山を楽しむ企画」を依頼され、冬晴れの12月6日向井F1の森へ。

皆さんを案内し山歩きを楽しんでいただきました。途中ではチェーンソーによる間伐デモンストレーションを見ていただき、頂上付近ではバードコールの作成や鋸による間伐も体験していただき寒さも吹っ飛んだのではないのでしょうか。お昼ごろには無事に下山していただきました。





《第4回》
 ・諸戸林友(株)
 引き継いだ山林には様々な試みの跡が見られ、

故きを温めつつ若く熱心な職員の方々と植林技術の革新に努めていらっしゃる川端氏にお話を伺いました。森づくりのパイオニアにはまだまだ学ぶことがありそうです。

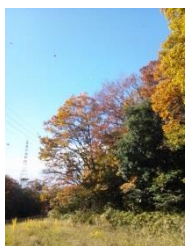
・大杉谷自然学校

県内では森林環境教育のパイオニアである大西校長の経験談は貴重であるとともに、だんだん人が減っていく地域をなんとか支えようとする心意気！が伝わりました。

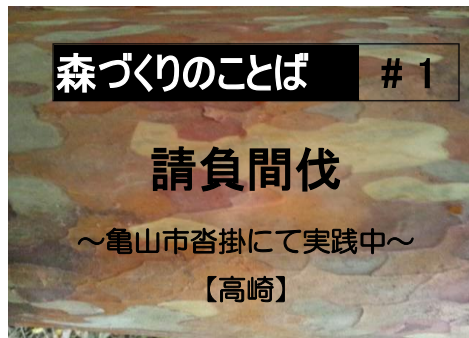


《第5回》 奥敬一氏をお迎えして

森林の風初の里山施業地である憩いの杜に、(独)森林総研関西支所より奥敬一氏を迎えました。植生を見ればどのような変遷をたどった森かわかること、大木になってしまったコナラの処理方法などを学びました。今後の施業方針に活かします。

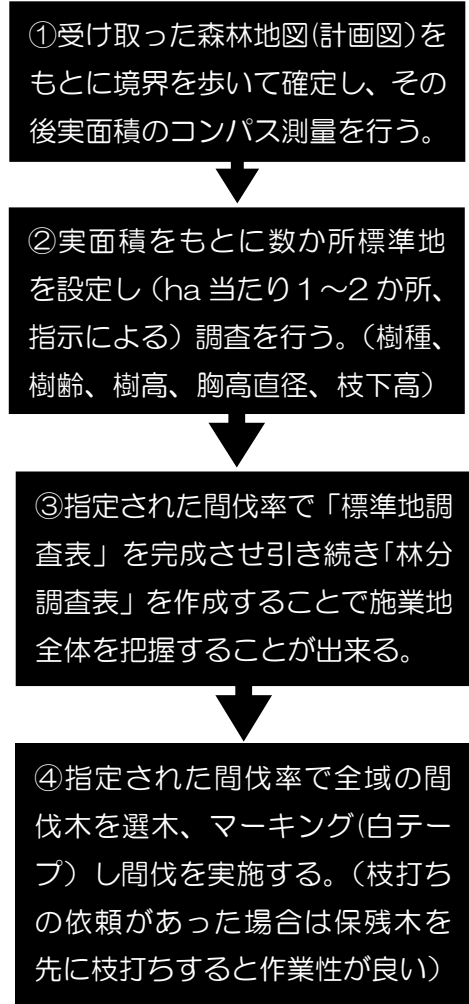


2013 年度
 まちのきこり人
 レベルアップ研修会より



森林の風では、山主(地主)さんまたは森林組合などの依頼で、人工林の施業を毎年数ヘクタール請け負ってきています。

請負間伐とはどんなものでしょうか。その手順を簡単に紹介します。



尚、請負施業においては、記録写真が必須となります。施業前、施業中、施業後(プロット地とその他)を定位置から撮影します。



もうすぐ退職するお父さん、仕事がなくなったら何をしますか？森のために体を動かし食う飯は格別ですよ！「第2の人生」のスタートにちょっと参加、してみませんか？もちろん若者、女性も大歓迎。

◎事務局

四日市市三滝台 4-15-7
 TEL & FAX: 059-321-7719
 携帯: 090-9663-4088 (瀧口)
 Mail: ktaki@m3.cty-net.ne.jp

◎担当

携帯: 090-2578-4396(裏川)
 Mail: alps0307@m2.cty-net.ne.jp

